

# 校内研修計画

塩山北中学校

## 1 学校課題

近年我が国は、情報化、科学技術の高度化、国際化などめまぐるしい変化を遂げ、社会情勢は大きく変化した。同時に生徒の生活環境も大きく変わりつつある。その社会情勢を踏まえ、今後の教育課題について考えてみたとき、激しい社会の変化にも、柔軟に適応できる能力を育成することがまずは必要であると思われる。社会の変化に適応できる力、すなわち自らが進んで問題を解決し、主体的に活動できる能力をすべての生徒に身につけさせることが、学校教育の今日的課題である。

本校は、大菩薩山嶺の扇状地に広がる農村地帯に位置する小規模学校である。幼少期から少人数の学級で過ごしてきたため、友人作りが苦手な生徒が多い。また、何事にも真面目に取り組むことができるが、互いに切磋琢磨しようという姿勢や、主体的に物事に挑戦しようという意欲に欠けているように思われる。

## 2 研究主題

### 心豊かで主体的に活動する生徒の育成 ～集団づくりと授業づくりの実践を通して～

## 3 主題設定の理由

平成26年に中教審から出された諮問文「初等中等教育における教育課程の基準等の在り方について」では、これからの時代を生きる子どもたちには、自立した人間として多様な他者と協働しながら、創造的に生きていくための力が必要だとされた。そして、そういった力をつけるために、課題の発見、解決に向けて、主体的・協働的に学ぶ学習（いわゆる「アクティブラーニング」）のより一層の充実が求められている。甲州市でも、平成23年度より「確かな学力」育成プロジェクトを立ち上げ、「授業づくり・授業改善」「学級づくり・集団づくり」、「保護者・地域住民との連携」の3つに視点をあて取り組んでいる。

平成27年度に実施された「全国学力・学習状況調査」などの結果については、甲州市内中学校の学習内容の定着は概ね良好であった。しかし、全国と同様「知識に関するA問題」よりも「活用に関する問題」の正答率が低い傾向にあり、「A問題」では基礎的・基本的な知識の定着に、「B問題」では、難しい問題へ対応することに課題が見られた。これらの結果から、児童生徒一人ひとりの学習状況の把握を確実に行き、指導方法の改善など、課題解決に向けた細かい対応が求められている。

本校では、平成22年度から4年間にわたり「心豊かで主体的に活動する生徒の育成～表現力の育成を図るための言語活動の工夫を通して～」という研究主題のもと、研究を進めてきたが、集団としての成果が上がる中で、新たな課題として「個の力」があげられた。そこで、一昨年度は「心豊かで主体的に活動する生徒の育成～個の力を向上させるためのQUアンケートの活用～」と研究主題を改めた。甲州市「確かな学力」育成プロジェクトの「学級づくり・集団づくり」に着目したQUアンケートを活用した実践は、各学級のより良い集団づくりに結びつき、学級集団としての質も向上につながった。さらに昨年度は、QUアンケートの活用を継続しながら、新たに甲州市「確かな学力」育成プロジェクトの「授業づくり・授業改善」にも注目し、「心豊かで主体的に活動する生徒の育成～集団づくりと授業づくりの実践を通して～」と副主題を改め、集団づくりと授業づくりの両面から研究を進め、学び合い支え合う学級集団を目指すことができた。今年度もこの研究主題・副主題を継続し、「授業づくり」と「集団づくり」の両面から研究を深めていくことで、近年求められている多様な力をより一層高めていくことができると仮定し、本主題を設定した。

#### 4 研究の具体的内容与方法

##### (1) 集団づくり

① Q U アンケートを活用し、K 1 3 法を取り入れた支援法(エンカウンター・ソーシャルスキル)の研究と実践

##### ② 塩北ライフの実践

- ・挨拶，授業規律，生活規律の徹底
- ・学級集団だけでなく，部活動や集会，行事を通して返事，挨拶の徹底
- ・その場に応じた言葉遣い
- ・日々の表現活動(スピーチ，掃除の反省会，生活記録ノート)

##### (2) 授業づくり

① 甲州市ティーチャーズノートを活用した「見通し・振り返り」を大切にした授業の実践

- ・「めあて(目標)」「まとめ(振り返り)」というマグネットを活用し，全授業で同じ形態で授業を進めるよう工夫する。
- ・座席表に要支援の生徒が分かるような工夫をする。→少人数の学校なので校内研の中で全教職員が把握できるようにしていく。
- ・1時間の授業が黒板に収まるように板書計画をたてる。
- ・Q U を取り入れた指導案を作成する。

② 基礎学力の定着に向けての実践

- ・毎週行われる学力定着テスト(ランクアップテスト)，定期試験前の学習会(北斗タイム)の実施
- ・家庭学習への取り組み(毎日10分の「家庭学習スタンバイ」の時間を活用)
- ・読書活動の推進(朝読書，一斉読書の取り組み)
- ・夏休みの学習会の実施
- ・N R T の実施と活用

### 年間校内研修計画

研究主任 宮澤梨歌

研究テーマ	教科領域等	担当者	学年	授業の時期	T・C 要請
甲州市ティーチャーズノート学習会	全教科	研究主任	全学年		
Q U アンケートの分析と活用	全教科	全員	全学年		
指導案検討と研究主任		研究主任		9月 11月	○ ○
甲州市内臨地研修(ブロック研究会)	情報教育	研究主任	全学年		
小中学校授業公開(ブロック研究会)	全教科	研究主任 授業者	全学年	11月 1月	
塩北ライフの活用(家庭学習指導の見直し)	全教科	全員	全学年		